

在庫管理アプリ

2024/05/13

株式会社ネオジャパン カスタマーサクセス部

用意するアプリ

以下3つのアプリを用意する。(各アプリの役割についての概要)

(1) マスタアプリ

↳ マスタ名称を登録する。(3)に登録された入出庫数を参照し、在庫数を算出する

(2) 入力アプリ

↳ (1)で登録されたマスタを選択のうえ、入庫数や出庫数を登録する

↳ (3)にマスタ名称、入庫数、在庫数を自動登録する

↳ 入力アプリへのデータ登録毎に、(1)のアプリ内のマスタ情報を更新する

(3) 蓄積アプリ

→ (2)で登録のあったデータを蓄積する

AppSuite > 在庫:蓄積 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

入力画面 ▾

ユニークな番号

文字(一行)部品を利用

マスタ名称

文字(一行)部品を利用

入庫数 出庫数

数値部品を利用

数値部品を利用

AppSuite > 在庫:マスタ > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

ユニークな番号 (自動採番)

マスタ名称

入出庫

	入庫数	出庫数
	12345	12345
	12345	12345
	12345	12345

在庫数 12345

更新用部品 (利用しない) (未選択)

部品の設定

- 基本
 - 部品名: ユニークな番号
 - タイプ: 文字(一行)
 - 任意の値 自動採番
 - 自動採番の詳細
 - 編集
 - 入力制限
 - 値の重複を禁止する
 - ユーザー補助
 - (なし)
 - 配置
 - タイトル
 - スタイル
 - 複写の設定

文字(一行)部品を利用し、自動採番を有効にする
値の重複を禁止にする

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の
入庫数の合計値を算出
SUM(入出庫, 入庫数)

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の
入庫数の合計値を算出
SUM(入出庫, 出庫数)

参照データ一覧部品を配置する
※設定方法は後述 P.5

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の入庫数から在庫数を減算する
SUM(入出庫, 入庫数) - SUM(入出庫, 出庫数)

プルダウン部品を配置する
選択値は何でも構わない

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

AppSuite > 在庫:マスタ > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン 部品管理 アクセス権

変更 キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面 入力画面

ユニークな番号
(自動採番)

マスタ名称

入出庫

	入庫数	出庫数	入庫数
	12345	12345	12345
	12345	12345	12345
	12345	12345	12345

在庫数

表示する部品 選択 (*)

- 入庫数
- 出庫数

データの並び順
データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)
(条件を追加)

※ (*)は必須項目です。

参照データ一覧の詳細設定

関連するデータの一覧を表示する設定です。

参照先アプリケーション(*)
在庫:蓄積

関連データを見つける条件(*)
参照先アプリケーションの部品: ユニークな番号
このアプリケーションの部品: ユニークな番号
※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択 (*)

- 入庫数
- 出庫数

データの並び順
データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)
(条件を追加)

※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

※ (*)は必須項目です。

参照先は蓄積アプリとする。
関連データを見つける条件は、それぞれ
部品名:ユニークな番号とする。
表示する部品は入庫数と出庫数とする。



本設定を行なうことで、マスタアプリ内に、「蓄積アプリ内に登録された入庫数と出庫数」を表示することができる

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン 部品管理 アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面 入力画面

マスタ名称 ユニークな番号

入庫数 出庫数

現在の入出庫状況

	在庫数	入庫数	出庫数
	12345	12345	
	12345	12345	12345
	12345	12345	12345

部品の設定

基本

部品名

出庫数

タイプ

数値

初期値

入力制限

値の重複を禁止する

入力を必須にする

最小値 最大値

小数点桁数

マスタ名称は文字(一行)部品を配置。マスタアプリと関連付けする ※設定方法は後述 P.7

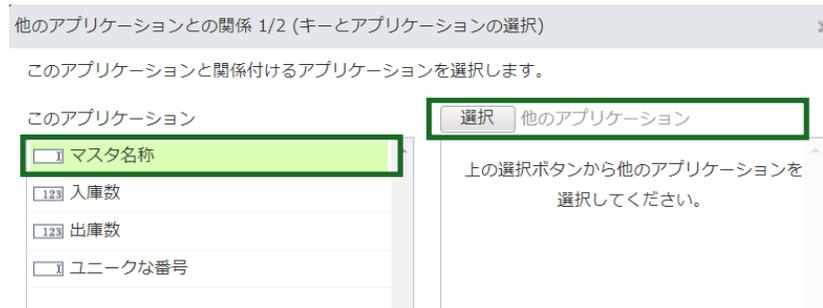
数値部品を配置する。初期値は「0」とする

参照データ一覧部品を配置する ※設定方法は後述 P.8

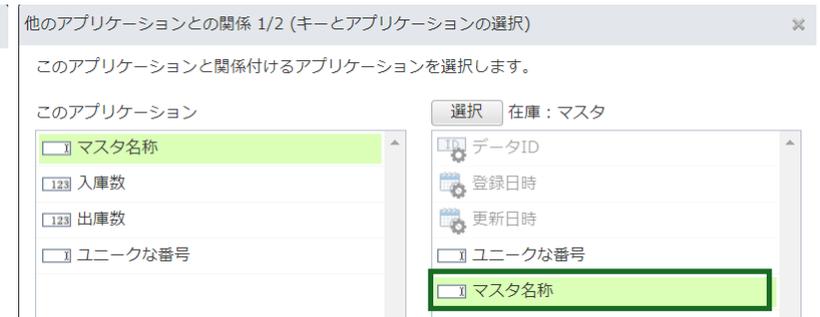
①マスタ名称を選択し、「他のアプリケーションの部品」タブから「関係の追加」を選択する



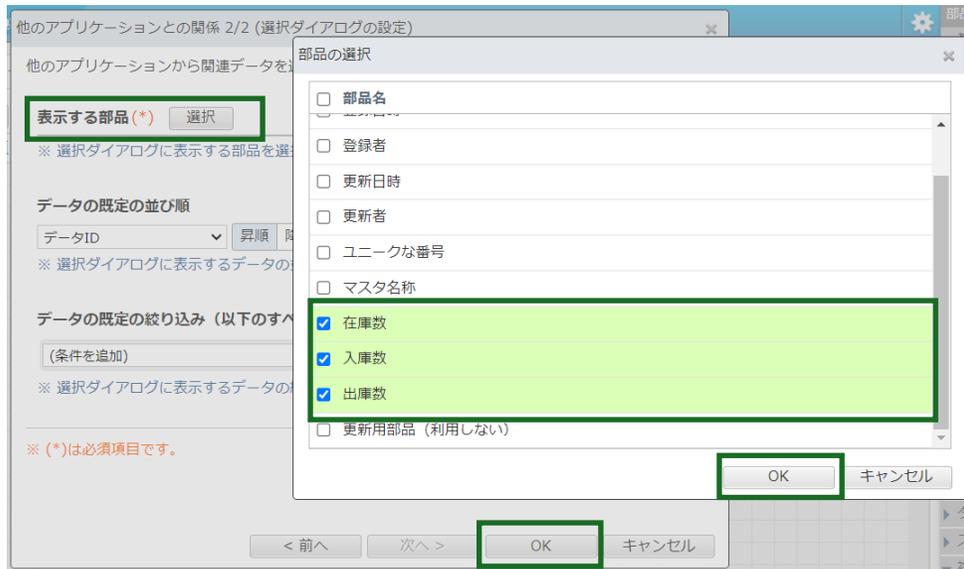
②このアプリケーション内の「マスタ名称」を選択し、選択ボタンをクリックする。



③在庫:マスタ内の「マスタ名称」を選択し、「次へ」を押す



④表示する部品の選択ボタンをクリックし、立ち上がったウィンドウから在庫数/入庫数/出庫数を選択し、OKを押す



⑤「他のアプリケーションの部品」タブ内にある、部品名:「ユニークな番号」を選択し、マウス操作で帳票内に移動し、配置する。また、部品種別を複写部品とする。



本設定を行なうことで、入力アプリからマスタを選択すると、そのマスタに該当する部品名:「ユニークな番号」が自動登録される

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン 部品管理 アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

入力画面

マスタ名称 ユニークな番号

入庫数 出庫数

現在の入出庫状況

	在庫数	入庫数	出庫数
	12345	12345	12345

参照データ一覧の詳細設定

参照先アプリケーション(*)
在庫: マスタ

関連データを見つける条件(*)
参照先アプリケーションの部品:
このアプリケーションの部品:

※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 (*)

- 在庫数
- 入庫数
- 出庫数

データの並び順
データID

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)

※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

参照先は在庫:マスタアプリとする。
関連データを見つける条件は、それぞれ
部品名:ユニークな番号とする。
表示する部品は在庫数と入庫数と出庫数とする。



本設定を行なうことで、入力アプリ内に、「マスタアプリ内に登録された在庫数と入庫数と出庫数」を表示することができる

自動処理(入力アプリ)

自動処理

以下2つの自動処理を用意する。(各アプリの役割についての概要)

(1)入力アプリから蓄積アプリへのデータ追加 ※P.11

(2)入力アプリからマスタアプリへのデータ更新 ※P.12

→データ更新時、自動計算を作動させ、最新の在庫数、入庫数、出庫数を反映するため

自動処理設定箇所：

desknet NEO

マスタ名称	入庫数	出庫数
1 ベン	500	
2 ベン	0	300

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

自動処理

- データの追加・変更時の処理
- インポート時の処理
- 定期処理

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

データの追加・変更時の処理 | インポート時の処理 | 定期処理

処理の作成 | 実行順変更 | 削除

(1)入力アプリから蓄積アプリへのデータ追加

AppSuite > 在庫入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 削除

データの追加・変更時の処理の変更

状態
有効 | 無効

タイトル(*)
入力→蓄積

処理を行うタイミング(*)
 データの追加時に行う
 データの変更時に行う

処理対象の絞り込み
(条件を追加)

実行内容

処理タイプ(*)
データを新規追加

保存先アプリケーション(
選択 | 在庫:蓄積

保存する値(*)
ユニークな番号: ユニークな番号 ×
マスタ名称: マスタ名称 ×
入庫数: 入庫数 ×
出庫数: 出庫数 ×
(保存先の部品を追加)

保存するデータの登録者
元データの登録者

処理を行うタイミングは、「データの追加時に行う」とする

処理タイプは、「データを新規追加」とする

保存先アプリケーションは、「蓄積アプリ」とする

蓄積アプリに保存する値は、「ユニークな番号/マスタ名称/入庫数/出庫数」とする
※左側が蓄積アプリ内の部品



本設定を行なうことで、入力アプリで登録した内容が、蓄積アプリへ1レコードとして登録されます。

(2) 入力アプリからマスタアプリへのデータ更新

AppSuite > 在庫入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 削除

データの追加・変更時の処理の変更

状態
有効 | 無効

タイトル(*)
入力→マスタ

処理を行うタイミング(*)
 データの追加時に行う
 データの変更時に行う

処理対象の絞り込み
(条件を追加)

実行内容

処理タイプ(*)
データを更新

保存先アプリケーション(*)
選択 | 在庫: マスタ

変更対象のデータを特定する条件(*)
保存先アプリケーションの部品: ユニークな番号
このアプリケーションの部品: ユニークな番号
※ 上記の値が一致したデータを変更します。

POINT ↑

保存する値(*)
更新用部品 (利用しない): (任意の値) | (未選択)
(保存先の部品を追加)

処理を行うタイミングは、「データの追加時に行う」とする

処理タイプは、「データを更新」とする

保存先アプリケーションは、「マスタアプリ」とする

変更対象のデータを特定する条件は、それぞれ「ユニークな番号」とする

保存する値は、マスタアプリ内の更新用部品とし、値は未選択とする

【ポイント】
マスタアプリを更新したいがため、
不要な(影響を受けない)部品を更新しています

本設定を行なうことで、入力アプリにデータ登録時、マスタアプリ内のデータが更新されるようになる

注意点

間違えて、入力アプリから入庫数、在庫数を登録してしまった場合は、
入力アプリ及び蓄積アプリにて該当データを削除ください。